

平成28年度



# たいさんぼく

学校だより2月号

小平市立小平第十三小学校

小平市小川西町1-22-1

TEL 042-342-1762

<http://www.kodaira.ed.jp/13kodaira/>

## 個性とコミュニケーション力

副校長 柴田 英文

1月27日～28日の展覧会、28日の学校公開日には、延べ700人を超える多くの保護者・地域の皆様にご来校いただきました。ありがとうございました。

保護者・地域の皆様が作品を見て喜んでくださる姿を拝見しながら、作品づくりに頑張った子どもたちと準備に打ち込んできた教職員にとって、達成感と心地よい疲労感を覚えた特別な日になったと感じました。

今年の展覧会のテーマ「思いをこめて、みんなちがってみんないい」は、ご存知の方も多いと思いますが、金子みすゞの詩「わたしと小鳥と鈴と」の中にある「みんなちがって、みんないい」の一節を借りてきたものです。

この詩はモノやイキモノ、人間がそれぞれのもつよさや美しさを発揮しながら存在することの素晴らしさを謳い、この世界への愛おしい気持ちを短い平易な言葉で綴られたものです。

更に、「思いをこめて」の言葉を加えることで、子どもたちが互いに努力を認めて、美しいもの、よりよいものをつくり出し、自他のよさを見付け合う喜びと、自らを伸ばそうとする意欲をもって欲しいと願いながら設定されたものです。アンケートにも「丁寧に個性にあふれていて」「楽しめた」とのご感想をいただきました。

また、6年生は新しいスタイルにチャレンジした展覧会でもありました。グループで創作した服を発表する「ファッションショー」や、展覧会にお越しのお客様に作品の説明を行う「キッズガイド」を行いました。

これらの活動では、言語や視覚、聴覚による総合的な表現力や、言葉の力を使ったコミュニケーション力が求められます。「キッズガイドの児童が自信を持って説明してくれました。とても感心しました。」とのお褒めの言葉を、ガイド終了後の皆様からいただきました。ご協力ありがとうございました。今後も表現力の育成や言語活動の充実を図ってまいりたいと思います。

今の子どもたちが大人になって迎える社会は、知性と感性の重要度が今以上に増す社会であり、経済活動における競争も新たな価値を生み出せるかどうかで決まると予想されています。その社会で生きる土台となる「個性」「コミュニケーション力」を考える一歩に、この展覧会がなっていたらうれしく思います。

いよいよ2月になり、本年度の授業も36日（5・6年は37日）を残すのみとなり、学年のまとめを振り返る時期が近づいてまいりました。

これからの時期は、子どもをいろいろな場面で評価することが多くなってまいります。どのように子どもを評価できるかが、その後の子どもの成長に関わっています。周りの大人たちが、子ども一人一人の「個性」に働きかけて伸ばす言葉かけをしていきたいものです。



荒尾一輝主任教諭は、下記の日程で教師道場（音楽）の成果発表を行います。この授業は、保護者でもご覧いただけます。ご希望の場合は連絡帳などで担任にお知らせの上ご来校ください。

日時；2月3日（金）午後1時40分～ 場所；小平第十三小学校音楽室にて  
内容；「打楽器のリズムアンサンブルを楽しもう」（3年生）